

業績の概要と分析

連結決算の概要 平成25年度の三井住友フィナンシャルグループ連結決算の概要は以下のとおりとなりました。

I 業績

平成25年度連結決算は、連結子会社324社、持分法適用会社46社を対象としています。

平成25年度連結決算は、連結粗利益が、前年度比1,053億円増加の2兆8,982億円となりました。これは、SMBC日興証券において、市況の改善を受け、株式委託売買手数料が好調に推移し、増収となったことに加え、三井住友ファイナンス&リース等の主要

な子会社の業績が概ね堅調に推移したこと等によるものです。この連結粗利益に、営業経費、与信関係費用、株式等損益、持分法による投資損益等を加減した経常利益は、同3,585億円増加の1兆4,323億円となりました。また、これに、特別損益及び法人税等を加減した当期純利益は、同412億円増加の8,353億円となりました。

◆連結子会社・持分法適用会社数

(単位：社)

	平成25年3月末	平成26年3月末	増減
連結子会社数	323	324	1
持分法適用会社数	44	46	2

◆損益の状況

(単位：百万円)

	平成24年度	平成25年度	増減
連結粗利益	2,792,891	2,898,233	105,342
資金利益	1,392,636	1,484,169	91,533
信託報酬	1,871	2,472	601
役務取引等利益	908,168	984,589	76,421
特定取引利益	166,617	211,881	45,264
その他業務利益	323,597	215,120	△108,477
営業経費	△1,496,294	△1,569,945	△73,651
与信関係費用	△173,115	49,073	222,188
不良債権処理額	△183,552	△96,797	86,755
貸倒引当金戻入益	—	136,212	136,212
償却債権取立益	10,436	9,657	△779
株式等損益	△20,973	89,243	110,216
持分法による投資損益	5,309	10,241	4,932
その他	△34,072	△44,514	△10,442
経常利益	1,073,745	1,432,332	358,587
特別損益	△9,711	△9,637	74
うち固定資産処分損益	△5,480	△8,595	△3,115
うち減損損失	△4,314	△3,348	966
税金等調整前当期純利益	1,064,033	1,422,694	358,661
法人税、住民税及び事業税	△279,898	△290,186	△10,288
法人税等調整額	133,930	△168,618	△302,548
少数株主損益調整前当期純利益	918,065	963,889	45,824
少数株主利益	△124,006	△128,532	△4,526
当期純利益	794,059	835,357	41,298
<参考>連結業務純益(単位：億円)	11,662	12,424	762

(注) 1. 連結粗利益=(資金運用収益-資金調達費用)+信託報酬+(役務取引等収益-役務取引等費用)+(特定取引収益-特定取引費用)+(その他業務収益-その他業務費用)
 2. 不良債権処理額=貸出金償却+貸倒引当金繰入額+その他(延滞債権等売却損益)
 3. 連結業務純益=三井住友銀行業務純益(一般貸倒引当金繰入前)+他の連結会社の経常利益(臨時要因調整後)+持分法適用会社経常利益×持分割合-内部取引(配当等)

また、預金は、平成25年3月末比5兆2,501億円増加して9兆3,319億円となり、譲渡性預金は、同1兆9,578億円増加して13兆7,135億円となりました。

一方、貸出金は、アジア、米州を中心に増加したこと等により、平成25年3月末比2兆5,955億円増加して68兆2,276億円、有価

証券は、金利動向を踏まえたオペレーションにより、同14兆1,539億円減少して27兆1,527億円となりました。

純資産は、9兆50億円となりました。このうち株主資本は、当期純利益の計上や剰余金の配当等の結果、6兆4,012億円となりました。

◆資産・負債・純資産

(単位：百万円)

	平成25年3月末	平成26年3月末	増減
資産	148,696,800	161,534,387	12,837,587
うち有価証券	41,306,731	27,152,781	△14,153,950
うち貸出金	65,632,091	68,227,688	2,595,597
負債	140,253,582	152,529,368	12,275,786
うち預金	89,081,811	94,331,925	5,250,114
うち譲渡性預金	11,755,654	13,713,539	1,957,885
純資産	8,443,218	9,005,019	561,801
うち株主資本	5,680,627	6,401,215	720,588

II 有価証券の評価損益

平成26年3月末の有価証券の評価損益は、株式市況の改善に伴い、株式の評価益が増加したこと等により、平成25年3月末比2,560億円増加して1兆4,387億円の評価益となりました。

◆有価証券の評価損益

(単位：百万円)

	平成25年3月末				平成26年3月末				
	連結 貸借対照表 計上額	評価損益	評価益	評価損	連結 貸借対照表 計上額	評価損益	平成25年 3月末比	評価益	評価損
満期保有目的	5,852,111	61,150	61,191	△41	4,536,849	33,797	△27,353	33,950	△153
その他有価証券	35,776,786	1,121,598	1,256,572	△134,973	22,866,288	1,404,992	283,394	1,523,711	△118,718
株式	2,806,706	771,237	867,109	△95,872	3,185,495	1,131,143	359,906	1,186,150	△55,006
債券	24,525,328	108,320	112,202	△3,881	12,897,704	65,592	△42,728	69,838	△4,245
その他	8,444,750	242,040	277,260	△35,220	6,783,089	208,255	△33,785	267,722	△59,466
その他の金銭の信託	22,789	10	10	—	23,120	—	△10	—	—
合計	41,651,687	1,182,759	1,317,774	△135,015	27,426,258	1,438,789	256,030	1,557,661	△118,872
株式	2,806,706	771,237	867,109	△95,872	3,185,495	1,131,143	359,906	1,186,150	△55,006
債券	30,365,341	169,467	173,390	△3,922	17,425,753	99,388	△70,079	103,787	△4,398
その他	8,479,639	242,054	277,274	△35,220	6,815,009	208,257	△33,797	267,723	△59,466

- (注) 1. 「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金及び「買入金銭債権」中の貸付債権信託受益権等も含めております。
 2. 評価損益は、株式(外国株式を含む)については主に連結決算日前1カ月の平均時価に、それ以外は連結決算日の時価に基づいております。
 3. 「その他有価証券」及び「その他の金銭の信託」については、時価評価しておりますので、評価損益は連結貸借対照表計上額と取得原価(又は償却原価)との差額を計上しております。
 なお、「その他有価証券」の評価損益のうち、時価ヘッジの適用により損益に反映させた額が17,031百万円(収益)(平成25年3月末は29,831百万円(収益))ありますので、純資産直入処理の対象となる額は、同額減算されます。
 4. 「その他有価証券」として保有する変動利付国債については、「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第25号)を踏まえ、合理的に算定された価額をもって連結貸借対照表計上額としております。

III 連結自己資本比率

平成26年3月末の連結自己資本比率は、当期純利益の計上等に伴い、総自己資本比率が平成25年3月末比0.8%上昇の15.51%、

Tier 1 比率は同1.26%上昇の12.19%、普通株式等Tier1 比率は同1.25%上昇の10.63%となりました。

◆連結自己資本比率(国際統一基準)の状況

(単位：百万円)

	平成25年3月末	平成26年3月末	増 減
普通株式等 Tier 1 (普通株式等 Tier 1 比率)	5,855,852 9.38%	6,550,796 10.63%	694,944 1.25%
その他 Tier 1	973,168	963,538	△9,630
Tier 1 (Tier 1 比率)	6,829,021 10.93%	7,514,335 12.19%	685,314 1.26%
Tier 2	2,356,989	2,047,083	△309,906
総自己資本 (総自己資本比率)	9,186,010 14.71%	9,561,418 15.51%	375,408 0.80%
リスク・アセット	62,426,124	61,623,294	△802,830

IV 配当政策

当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本としておりますが、期末配当は株主総会の決議事項、中間配当は取締役会の決議事項とし、中間配当につきましては、取締役会の決議により毎年9月30日を基準日として中間配当を行うことができる旨、定款に定めております。

また、当社は、銀行持株会社としての公共性に鑑み、健全経営確保の観点から当社グループ全体の内部留保の充実に留意しつつ、企業価値の持続的な向上を通じて、安定的かつ継続的に利益配分の増加を図り、連結当期純利益に対する配当性向を20%超とすることを基本方針としてまいりました。

以上の方針の下、当年度末の普通株式1株当たりの配当金につきましては、足許の業績動向等を踏まえ、普通配当を前期比10円増配の120円といたしました。

今後は、健全経営確保の観点から内部留保の充実に留意しつつ、資本効率を意識し、成長投資によって高い収益性と成長性を実現することで、持続的な株主価値の向上を図り、1株当たり配当の安定的な引き上げに努めることを基本方針としてまいります。

単体決算の概要

平成25年度の三井住友銀行単体決算の概要は以下のとおりとなりました。

I 業績

平成25年度は、業務粗利益が前期比180億円増加の1兆5,581億円となる一方、経費(除く臨時処理分)が同180億円増加の7,457億円となりました。これにより、業務純益(除く一般貸倒引当金繰入額)は、前期比横ばいの8,124億円となりました。

この業務純益(除く一般貸倒引当金繰入額)に、不良債権処理額、株式等損益などの臨時的な損益を加えた経常利益は、同2,816億円増加の9,525億円となりました。

これに、特別損益、法人税等の税金を加減した当期純利益は、同125億円減少の6,052億円となりました。

II 損益の状況

業務粗利益

業務粗利益は、前期比180億円増加の1兆5,581億円となりました。これは、国債等債券損益が前期比1,131億円の減益となる一方で、株式インデックス投信の評価益実現等により資金利益が増加したことに加え、アジア・米州を中心とするアセットの投入に伴い、国際部門の資金利益や役務取引等利益が増加したこと等が主な要因であります。

経費

経費(除く臨時処理分)は、前期比180億円増加して7,457億円となりました。これは、経常的な経費の見直しによる削減を行う一方、海外業務拡大に伴う人員増強や業務推進経費の増加に加え、過年度のシステム・施設投資に伴う減価償却負担の増加が主な要因であります。

業務純益

以上の結果、平成25年度の業務純益(除く一般貸倒引当金繰入額)は、前期比横ばいの8,124億円となりました。

◆業務純益

(単位：百万円)

	平成24年度	平成25年度	増減
資金利益	971,202	1,064,906	93,704
信託報酬	1,823	1,972	149
役務取引等利益	343,738	357,351	13,613
特定取引利益	△3,781	36,779	40,560
その他業務利益	227,112	97,172	△129,940
業務粗利益	1,540,095	1,558,184	18,089
(うち国債等債券損益)	(113,849)	(734)	(△113,115)
国内業務粗利益	1,098,912	1,112,008	13,096
国際業務粗利益	441,182	446,175	4,993
経費(除く臨時処理分)	△727,736	△745,745	△18,009
人件費	△270,091	△283,236	△13,145
物件費	△419,203	△425,140	△5,937
税金	△38,440	△37,368	1,072
業務純益(除く一般貸倒引当金繰入額)	812,358	812,438	80
(うち国債等債券損益)	(113,849)	(734)	(△113,115)
一般貸倒引当金繰入額	—	—	—
業務純益	812,358	812,438	80

[参考]

◆業務部門別業績

(単位：億円)

業務純益(除く一般貸倒引当金繰入額)	個人部門	法人部門	企業金融部門	国際部門	市場営業部門	本社管理	合計
平成25年度	543	1,802	1,853	2,067	3,025	△1,166	8,124
前年度比	△238	△92	66	91	285	△112	0

(注) 1. 各部門の前年度比は金利影響・為替影響等を除いた行内管理ベースであります。

2. 「本社管理」内訳：(1)優先証券コスト・劣後調達コスト、(2)自己資本運用益、(3)部門間の調整 等

臨時損益(不良債権処理等)

臨時損益は、前期比2,815億円改善して1,400億円の利益となりました。これは、株式市況の改善に伴い保有株式の売却損益が増加したことや、経済環境が改善する中、取引先企業の実態に応じたきめ細かな対応に取り組んできた成果等により貸倒引当金戻入益が増加したこと等によるものです。

なお、一般貸倒引当金繰入額、不良債権処理額、貸倒引当金戻入益及び償却債権取立益を合計した与信関係費用は、同1,434億円改善の1,239億円の戻り益となりました。

経常利益

以上の結果、経常利益は前期比2,816億円増加の9,525億円となりました。

特別損益

特別損益は、前期比5億円減益の60億円の損失となりました。

当期純利益

法人税、住民税及び事業税は、1,828億円となりました。また、法人税等調整額は、税効果会計上の例示区分が変更となったことによる昨年度の特異要因剥落等により、前期比3,204億円増加の1,583億円の費用となりました。これらの結果、当期純利益は、前期比125億円減少の6,052億円となりました。

◆経常利益・当期純損益

(単位：百万円)

	平成24年度	平成25年度	増 減
業務純益(除く一般貸倒引当金繰入額)	812,358	812,438	80
一般貸倒引当金繰入額 ①	—	—	—
不良債権処理額 ②	△46,326	△8,945	37,381
貸倒引当金戻入益 ③	26,747	132,784	106,037
償却債権取立益 ④	54	82	28
株式等売却損益	469	112,682	112,213
株式等償却	△36,131	△6,272	29,859
株式等損益	△35,662	106,410	142,072
その他臨時損益	△86,319	△90,252	△3,933
臨時損益	△141,505	140,078	281,583
経常利益	670,852	952,516	281,664
うち固定資産処分損益	△2,200	△3,604	△1,404
うち減損損失	△3,250	△2,428	822
特別損益	△5,451	△6,033	△582
法人税、住民税及び事業税	△209,704	△182,869	26,835
法人税等調整額	162,095	△158,358	△320,453
当期純利益	617,791	605,255	△12,536
与信関係費用 ①+②+③+④	△19,523	123,920	143,443
一般貸倒引当金繰入額	71,680	66,627	△5,053
貸出金償却	△40,258	△4,520	35,738
個別貸倒引当金繰入額	△45,102	66,899	112,001
貸出債権売却損等	△6,067	△4,425	1,642
特定海外債権引当勘定繰入額	168	△742	△910
償却債権取立益	54	82	28

III 資産・負債・純資産の状況

資産

総資産は平成25年3月末比10兆564億円増加して135兆9,664億円となりました。このうち貸出金は、アジア、米州を中心に同3兆5,999億円増加して63兆3,706億円となりました。

負債

負債は、平成25年3月末比9兆5,335億円増加して128兆8,890億円となりました。このうち預金は、国内の個人、法人に加え、海外店においても業容拡大に伴い預金が増加したこと等から、4兆1,309億円増加して84兆1,373億円となりました。

純資産

純資産は、7兆773億円となりました。このうち株主資本は、当期純利益の計上や剰余金の配当等の結果、6兆1,795億円となりました。内訳は、資本金1兆7,709億円、資本剰余金2兆4,812億円(うちその他資本剰余金7,102億円)、利益剰余金2兆1,372億円、自己株式△2,100億円となっております。

また、評価・換算差額等は、8,978億円となりました。内訳は、その他有価証券評価差額金9,268億円、繰延ヘッジ損益531億円のマイナス、土地再評価差額金241億円となっております。

◆資産・負債・純資産

(単位：百万円)

	平成25年3月末	平成26年3月末	増 減
資産	125,910,020	135,966,434	10,056,414
うち有価証券	41,347,000	27,317,549	△14,029,451
うち貸出金	59,770,763	63,370,678	3,599,915
負債	119,355,573	128,889,073	9,533,500
うち預金	80,006,438	84,137,339	4,130,901
うち譲渡性預金	11,921,899	14,020,505	2,098,606
純資産	6,554,446	7,077,360	522,914
うち株主資本	5,762,995	6,179,502	416,507

IV 有価証券の評価損益

平成26年3月末の有価証券の評価損益は、株式市況の改善に伴い、株式の評価益が増加したこと等により、平成25年3月末比1,612億円増加して1兆2,454億円の評価益となりました。

◆有価証券の評価損益

(単位：百万円)

	平成25年3月末				平成26年3月末				
	貸借対照表計上額	評価損益	評価益	評価損	貸借対照表計上額	評価損益	平成25年3月末比	評価益	評価損
満期保有目的	5,735,948	59,904	59,941	△37	4,436,939	33,115	△26,789	33,240	△124
子会社・関連会社株式	2,474,054	△16,326	7,274	△23,600	3,148,478	△72,421	△56,095	7,158	△79,579
その他有価証券	33,655,434	1,040,660	1,165,723	△125,062	20,288,361	1,284,779	244,119	1,391,833	△107,054
株式	2,792,916	769,685	862,237	△92,551	3,118,385	1,109,090	339,405	1,159,836	△50,746
債券	23,126,292	95,261	98,552	△3,291	11,831,122	59,993	△35,268	63,934	△3,940
その他	7,736,225	175,713	204,933	△29,219	5,338,853	115,695	△60,018	168,062	△52,367
その他の金銭の信託	2,372	10	10	—	2,060	—	△10	—	—
合計	41,867,810	1,084,249	1,232,949	△148,699	27,875,841	1,245,474	161,225	1,432,232	△186,758
株式	3,900,774	764,286	869,511	△105,224	4,287,847	1,104,367	340,081	1,166,995	△62,627
債券	28,862,241	155,165	158,494	△3,328	16,268,062	93,109	△62,056	97,174	△4,065
その他	9,104,794	164,797	204,943	△40,146	7,319,931	47,997	△116,800	168,062	△120,065

- (注) 1. 「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金及び「買入金銭債権」中の貸付債権信託受益権等も含めております。
2. 評価損益は、子会社・関連会社株式に該当しない株式(外国株式を含む)については主に決算日前1カ月の平均時価に、それ以外は決算日の時価に基づいております。
3. 「その他有価証券」及び「その他の金銭の信託」については、時価評価しておりますので、評価損益は貸借対照表計上額と取得原価(又は償却原価)との差額を計上しております。
なお、「その他有価証券」の評価損益のうち、時価ヘッジの適用により損益に反映させた額が17,031百万円(収益)(平成25年3月末は29,831百万円(収益))ありますので、純資産直入処理の対象となる額は、同額減算されます。
4. 「その他有価証券」として保有する変動利付国債については、「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第25号)を踏まえ、合理的に算定された価額をもって貸借対照表計上額としております。

証券化商品等への投融資等の状況（三井住友フィナンシャルグループ連結）

以下の計数は、平成26年3月末の管理会計ベースであります。

I 証券化商品の状況

(単位：億円)

	平成26年3月末					平成25年3月末			
	残高 (償却・引当 控除後)	平成25年 3月末比	うち海外	平成25年 3月末比	含み損益 (償却後)	平成25年 3月末比	残高 (償却・引当 控除後)	うち海外	含み損益 (償却後)
クレジットカード債権等を裏付資産とする証券化商品(Cards等)	1,472	494	1,391	413	10	7	978	978	4
事業法人向けローン債権を裏付資産とする証券化商品(CLO)	6	1	6	1	20	△1	5	5	21
商業用不動産を裏付資産とする証券化商品(CMBS)	93	8	93	8	5	△0	85	85	5
住宅ローン債権を裏付資産とする証券化商品(RMBS等)	242	241	242	241	2	△0	1	1	2
合計	1,813	744	1,731	662	37	5	1,069	1,069	32

(注) 1. ABCPの保有残高はありません。

2. 米国政府支援機関保証債、住宅金融支援機構債、並びに自行債権の流動化に伴い保有する劣後受益権等は含めておりません。

II レバレッジローンの状況

(単位：億円)

	平成26年3月末				平成25年3月末	
	貸出金 残高	平成25年 3月末比	コミットメント ライン 未引出額	平成25年 3月末比	貸出金 残高	コミットメント ライン 未引出額
欧州向け	1,455	361	223	57	1,094	166
日本向け	2,762	954	253	△110	1,808	362
米州向け	1,239	501	1,080	314	738	765
アジア向け	574	△24	48	△8	598	56
合計	6,030	1,792	1,604	254	4,238	1,350